

ノコギリカミキリ

澄川の基地の住虫のひとつにノコギリカミキリがいます。2012年8月3日、澄川基地周りの整理工事中、邪魔な伐根を掘り出す鍬をふるっていましたが、土の中から這い出してきました。捕まえたのですが、あばれまくってグューグューと音を発します。動きが活発で逃げられそうなので脚を掴まえての撮影でした。放すとすぐに飛んで逃げました。触覚がぎざぎざしていて鋸の刃を思わせることから命名されたようです。材木を齧るくらいですが、素手に噛みつかれると皮を破られますからご注意ください。



体長は 27~35 ミリで仲間うちでは中型です、分布は日本全土。夜行性とされていますが、澄川ではしばしば昼間でも見かけます。基地まわりは食料だらけですから、この虫だらけでもあります。

伐根を掘っていますといろいろな虫の幼虫や蛹がぞろぞろと出てきました。カブトムシ、クワガタムシ、セミなどですが、その幾つかは鍬

の刃で傷つけてしまいましたが、無傷なのは「兜虫の寝床」に移しました。幼虫の鑑定は困難ですから、セミにしてもエゾゼミなのかアカエゾゼミなのかは分かりません。根が腐りはじめていて土を肥やしていることがよく分かりました。2機会の作業で3伐根を引き抜き、活動用地面積がかなり拡がりました。

この日炭焼き窯を開けました。結果は上々の部類だと思います。10周年記念行事の参加者の手土産に予定している収穫があったようで、再度火入れする必要なしと判断されました。

